

令和6年度武蔵野市防災会議議事録

開催日時	令和6年12月26日（木） 午後1時30分～2時30分
開催場所	武蔵野市役所西棟5階 対策本部室
防災会議委員	別紙「武蔵野市防災会議委員名簿」のとおり
出席委員	※委員名後ろの（代理）は当日代理者が出席 小美濃安弘、田原なるみ(代理)、細川卓巳、平丸圭吾、落合勝利、 藪原太郎、木崎剛、伊藤英穂、荻野芳明、菅野晃一（代理）、 松井栄一郎、生稲克己（代理）、富岡達生（代理）、川上卓郎、 黒崎雅之、矢田照博、宇賀神俊介、中嶋伸、宮原隆雄、小安邦彦、 西田順子、高橋勇、佐々木岳、栗原尚孝、高岡利行(代理) (計25名)【敬称略】
事務局	防災安全部

1 開会

【事務局】

定刻となりましたので、令和6年度武蔵野市防災会議を進行いたします。本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。私は、議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます防災安全部長の稲葉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。武蔵野市防災会議の目的は、武蔵野市地域防災計画を策定し、その実施を推進することとなっております。従来は計画の策定・修正時に開催していましたが、令和5年度より、関係機関の皆様の情報共有の場として年に1回程度開催してございます。本日は、令和4年度に修正いたしました武蔵野市地域防災計画を踏まえ、令和6年度の実績や共有事項に関してご報告いただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

—＜配布資料確認＞—

なお、武蔵野市防災会議運営規程第5条の規定によりまして、議事録の作成が義務付けられておりますので、本日は録音をさせていただいております。あらかじめ、ご承知おきください。

また、記録のためご参加いただいている皆様の全体写真を撮らせていただきたいと思います。着席された状態でカメラに視線をいただければと思います。参加されている出席機関の方で、広報用に写真撮影の希望がある場合は、今時間を設けたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、ただいまより令和6年度武蔵野市防災会議を開会いたします。

武蔵野市防災会議傍聴要領第2、3条の規定により、防災会議の議決がない場合は、公開し、傍聴人を10人以内で認めることができます。

本日2名の希望がございますが、傍聴を認めてよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、傍聴人の入場を認めますので、しばらくお待ちください。

—＜傍聴人入場＞—

さて、この会議の議事でございますが、武蔵野市防災会議運営規程第4条によりまして、会長が主宰主催することとされております。以後は会長に進行をお願いいたします。

会長、よろしくお願いいたします。

2 議事

【会長】

それでは、私がこの会議の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。

武蔵野市防災会議の開催にあたり、ご挨拶申し上げたいと存じます。本日は公私にわたりお忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

社会構造も変化する中、「自助・共助・公助」の的確な連携を踏まえた防災対策の充実は喫緊の課題であると認識しております。

今後30年以内に70%の確率で起こるといわれている首都直下地震も予測から約10年がたち、いつ発生してもおかしくない状況でございます。

皆様と共に作り上げた武蔵野市地域防災計画を着実に推進し、武蔵野市での被害を少しでも減らすことができるよう、今後も各関係機関等と連携しながら様々な対策に取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、本日は委員の皆様におかれましては、活発な発言をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。

本防災会議は、武蔵野市防災会議運営規程第3条の規定によりまして、会議の開催には過半数の委員の出席が必要となりますが、総委員28名中、現在25名の出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。

それでは、さっそくではございますが、議事に入らせていただきます。

次第の2 報告事項「令和6年度防災訓練実績及び今後の訓練スケジュールについて」及び「武蔵野市地域防災計画（令和4年度修正）の進捗報告について」及び「地域防災計画の

修正について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

—＜事務局より説明＞—

【会長】

ただいまの説明につきましてご質問、ご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。

【委員】

ご説明のあった被災地支援について、人的支援は人事から何らかの要請があったのか、どのような形で進められたのか経緯をご説明いただければと思います。

【事務局】

石川県の輪島市につきましては、市長会を通じて東京都の対口支援の枠組みで職員を派遣いたしました。また、山形県酒田市につきましては、友好都市でもあり、取り急ぎプッシュ型で物的支援を行いました。その後、酒田市からも要請があり、武蔵野市も含めた友好都市を中心に人的支援を行ったところです。

【委員】

今年、酒田市の方は訪問させていただき、現地の状況を見ました。その中で人的支援が非常に助かったという話を伺ってまいりました。今後の取り組みの中に活かしていただければと思います。

【会長】

他に、何かご意見ありますか。

【委員】

資料1のはらっぱ水防・防災フェスタむさしの2024についてですが、統合した上で初の開催であると思います。私も参加してみて統合されてよかったと感じることが多く、非常によかったなと思っているのですが、前年度より一般参加者が500人増加したというのはそれぞれの参加人数の合計と比較しての500人なのか、何と比較しての500人なのか。

【事務局】

水防訓練は、一般参加者がいない訓練ですので、防災フェスタむさしのとの比較となって

くると思います。

【会長】

他に、何かご意見ありますでしょうか。

【委員】

家具転倒防止の件についてですが、市報には「今年度約 1,000 世帯分の」と書いており、11 月末時点で 513 件とありますが、これは今年度だけでなく 1,000 件まで続けるということによろしいでしょうか。

【事務局】

予算上、1 世帯あたり最大の 1 万円分の補助をした場合には、上限は 1,000 世帯となりますが、実績ベースでは 1 世帯あたり 8,000 円程度の申請が多いため、1,000 世帯を超えても対応できます。仮に予算が不足する場合は、補正等を組んで対応する予定です。

【委員】

来年度も実施するということによろしいでしょうか。

【事務局】

単年度の事業というわけではないので、毎年予算を計上して実施する予定です。

【委員】

私は購入しましたが、色々な場でアピールをしても、まだ知らない方が多いと感じます。まだまだ広報が足りないので、私もアピールはしていきたいと思っております。

【会長】

基本的には、今年度の実績や反響を聞きながら続けていきたいと思っておりますので、今後も引き続き PR のほどよろしくお願いいたします。

【会長】

その他にご質問はございますでしょうか。

それでは続きまして、共有すべき報告事項として事前にご提出いただいております「避難所等における保健衛生対策」に係る調査及びヒアリングの実施、健康危機対処計画に係る実践型訓練について東京都多摩府中保健所様よりご説明をよろしくお願いいたします。

【委員代理】

2点ございます。1点目、「避難所等における保健衛生対策」に係る調査及びヒアリングの実施について、新型コロナの反省点を踏まえ、今年の4月に市町村連携課というものを新設しました。この取り組みの一環として、武蔵野市様をはじめ管内6市に避難所等における保健衛生対策にかかるヒアリングを実施しています。知見を集め、情報等を共有させていただき、研修などを行いまして、各市と連携して圏域全体の災害対策を一層充実して参りたいと思います。

もう1点は、健康危機対処計画に係る実践型訓練についてです。昨年の3月に地域保健対策の基本的指針というものが発表され、新型コロナの反省を踏まえて、東京都もこの3月に東京都感染症予防計画を策定しています。東京都の計画と整合性を図り、この3月に保健所の健康危機対処計画というものを策定し、感染症対応にかかる実践型訓練を年1回実施すると定められています。11月26日に各圏域内の医療機関様と合同訓練で、新興感染症発生時対応訓練というものを実施し、入院調整伝達訓練や、実際に患者を医療機関に輸送する患者輸送訓練などを行いました。来年度以降も、この訓練を定期的に行い、より実践的に準備をして参りたいと思っております。

【会長】

ただ今のご報告に関しまして、ご意見・ご質問等ございますでしょうか。

【委員】

実践型訓練について、新たなパンデミックを想定した訓練かと思いますが、この訓練は北多摩南部の6市で順番に行う想定でしょうか。

【委員代理】

まだ明確に決めてはいませんが、来年度は別の医療機関様などを検討させていただき、順番に行っていきたいと思っております。

【会長】

続きまして、武蔵野警察署令和6年度大規模災害対策の推進について警視庁武蔵野警察署様よりご説明をお願いします。

【委員】

今回の防災会議のテーマではないですが、闇バイトをはじめとして非常に凶悪な事件が周辺でも多発しております。武蔵野市長の音頭によりまして、一体で周知活動を行っております。

それでは、警視庁の大規模災害対策の推進について簡単にご説明いたします。平成29

年に警視庁の大規模災害対策推進プランというものを作成し、令和4年度に改正を行い現在に至っております。大きなテーマは「自助・共助・公助」、お互いが助け合う町が構成されている、住民同士が顔の見える関係で助け合う町になっているかが1つです。

もう1つが警察をはじめ関係機関が情報を素早く把握し、ポイントを絞って警視察活動を行うことで減災に繋げるということの大きな2つのテーマです。その中に5つテーマがあり、警視庁全体として警視庁警察だけでのテーマが3つ、それ以外皆様と共有したいテーマがこの2つのテーマになります。

1つが地域防災力の向上です。1つ目は地域リスクを踏まえた防災意識の醸成ということで、ハザードマップを活用して、災害図上訓練を随時開催しています。過去には、平成28年に台風の影響で三鷹駅前のタワーマンションの壁が崩落して1人けがしたという事案もあり、平成30年には吉祥寺南町で100名以上の避難勧告が出たということで、具体的な当時の事例を紹介しながら図上訓練をしています。2つ目は各世代の特性を生かした防災活動の推進、特に中学生から大学生の若い方、女性の視点を取り入れたボランティア活動、警察行政を紹介する場面で防災意識を高めていく活動です。また、旧Twitter、Xで防災知識を随時発信しています。3つ目、地域で助け合うことができる災害に強い街づくりです。当署では管内53の市役所、管公庁王商、民間企業とパートナーシップを締結しており、随時訓練を実施しています。また、帰宅困難者対策訓練にも参加をして、顔の見える関係を築いていけたらと思います。最後、外国人ですが、市内でも外国人の居住者が増えている傾向です。我々も警察活動を通じて防災意識を周知する活動をしているところです。共有したいテーマの2として挙げている、関係機関との連携ですが、1つ目、平時・有事における情報の共有について、武蔵野市役所に出向している職員を通じて、市と常に連絡を取り合っています。発災時は、防災コーディネーターを3名、当署から市役所に派遣する予定です。消防庁、医療機関・公共機関等々とも顔の見える関係を作るため、訓練などを通じて連携をしています。2つ目、機能・特性の理解と相互補完による総合力の発揮ですが、相互補完ということに記載しました。最後の3つ目、事業者等との協力体制の構築ですが、警察署の無線が崩壊した場合は、横河電機さんに場所を借りて警察署の代わりの施設とする協定を結んでおります。また、車が動かない際のガソリンの提供、ドラレコの提供をお願いなど、現在は3施設と協定をしております。今後は建設業界など、発災時の関係がより強くなるような締結を目指していきたいと思っております。説明は以上になります。

【会長】

ただ今のご説明に関しまして、ご意見・ご質問等ございますでしょうか。

【委員】

1点追加で申し上げます。富士山の噴火も1つ大きなテーマになるかと思います。警視

庁も富士山の灰が降り積もった場合に、無線機がちゃんと使えるのか、施設に灰が入ってこないようにする措置、車も4WDにするなど警視庁全体で取り組んでいるところではあります。

【委員】

地域で助け合うことのできる災害に強い街づくり、ということで具体的に警察の方では地域に何かアピール、お知らせということはされているのでしょうか。

【委員】

防犯アプリのデジポリスやメールけいしちょうなど、随時情報発信しています。課題としては、15万人近い市民の方にもれなく届いているかです。あらゆる活動を通じて警察・市役所の情報発信が届く環境づくりに努めています。町内会がないため、コミセンを通じて各種警察からの情報提供の場にしていきたいと考えております。

【委員】

富士山の噴火について、4WDでないと走行が困難であると伺いました。雪とか氷であれば自然に溶けてなくなることが期待されますが、灰の場合は除去が必要になるかと思えます。この場合に武蔵野市としてはどのように捉えているのか伺えればと思います。

【事務局】

地域防災計画の中で「火山噴火降灰編」として火山噴火に特化した計画を策定しておりますので、これに基づいて対応していければと思っております。

【会長】

つづきまして、令和6年中の武蔵野市内の災害状況について東京消防庁武蔵野消防署様よりご説明をお願いします。

【委員代理】

武蔵野市内の火災状況です。令和6年火災件数が昨年に比べてマイナス13件。焼損床面積の方も15㎡です。ただ、傷者の方がプラス2名です。死者につきましては、先月末に死者の発生なし1,000日を達成し、現在も継続しています。出火原因につきましては、昨年同様、電気関係の火災原因が多くなっています。電気火災の内訳の詳細ですが、電気機器の充電式電池、配線、コンセント等の発火が多くなっています。武蔵野市内の救急出動状況、管内の状況ですが、令和6年12月24日現在で9,141件と昨年の件数に迫っている状況です。昨年の件数を200件近く超える予想想定です。なお12月の中旬以降は救急出動件数が増加しており、消防署でも非常用救急車を1台増隊して対応している状況です。今年のトピック

スというところで2つ申し上げます。1つ目が武蔵野デイトム救急隊の増~~送~~隊でございます。令和6年10月17日から運用を開始してます。24時間当番制で行っている3隊に加え、日中の8時30分から17時15分の救急要請が多い時間帯を対応する隊1隊を含め現在4隊で対応しています。2つ目が東京消防庁~~警防~~本部多摩指揮隊の~~送~~贈隊でございます。本隊が立川多摩の消防署の敷地内に配備されております。本来、大規模な災害があった場合、大手町の指揮隊が出動しますが、多摩地域の大規模災害の対応が遅れるということがあり、立川に多摩指揮隊という隊を1隊増隊し指揮命令系統、司令塔としての部隊を創設しました。

現在、東京消防庁管内で住宅火災の死者数が大変増加しています。令和3年が1年間で83名の死者数であったのが、今年度は12月24日現在でも76名の発生です。それに伴い、本庁の方では緊急対策推進本部を設置し各種広報等により住宅火災による死者の発生の抑制・防止を訴えています。以上でございます。

【会長】

ただ今のご説明に関しまして、ご意見・ご質問等ございますでしょうか。

【委員】

出火原因について、ガス関係とたばこが増えていますが、詳細を教えてくださいませんか。

【委員代理】

タバコについては、東京消防庁の管内でも上位に入っています。ガス関係の部分としては、ガスコンロ、ガステーブルが増えている状況でございます。

【委員】

ガスコンロにつきまして、調理中のものか、こういった時の原因が多いでしょうか。

【委員代理】

調理中のガスコンロやガステーブルによる出火が多いです。

【委員】

最近では電気を使ったコンロが増えている中、ガスが増えているのが気になりました。タバコは以前から多いことは承知しておりましたので、我々も気を付けつつPRしていきたいと思っております。

【委員】

電気火災数ですが、充電式電池とコンセントの2つが多く、コンセントはトラッキングなど危険なことは情報として知れ渡っているかと思います。充電式電池は発火のリスクがあるが、今の社会においてなくてはならないものになっています。消防の立場から火災原因となる充電式電池による火災を防ぐという観点で、こういった注意があるか教えていただけますでしょうか。

【委員代理】

消費者庁などからも情報が出ているところではあるかと思うのですが、衝撃を与えない、高熱の場所に放置しない、不正に入手したバッテリーを使用しないといったことが大切で、~~だと思っております。~~

【委員】

住宅用火災警報器煙探知機を全世帯に設置していると思うのですが、10 年が寿命と聞きました。取り付け直し・点検などの広報はどのようにされているのでしょうか。

【委員代理】

消防署でも、本庁の防災部からチラシを各世帯に織り込んで入れるなど対応をしています。PR ビデオの放映などは街頭のモニターなどを活用し、啓発しています。

【会長】

事前に報告していただいております資料は以上となりますが、委員の皆様より共有すべき報告事項はありますでしょうか。

【委員】

二次救急を担っていた吉祥寺南病院が本年の10月1日より診療休止の状況になっております。吉祥寺南病院については災害時医療の拠点の位置づけもあったため、市としてはこの病院の再開を市の最優先課題と考えております。本日は病院休止以降の救急医療の現状について共有したいと思っております。赤十字病院様よりご説明をいただければと思います。

【委員】

1日当たりの救急車の台数が約29～30台、年間1万～1万1,000台の救急車を受けている状況で、その内、高度な救急である3次救急が約1,700～1,800件という状況です。救急車の状況について、現在、3次救急での台数に関しては大きな変化はございません。顕著なのは2次救急の台数として、大きな変化はないですが整形外科、脳神経外科のウォークインの数と2次救急で搬送される脳神経外科、整形外科の患者が増えています。前年同月比で約30～35%増加となっています。患者数の増加を見越し、外科、整形外科、脳神経外科それぞれ

れ専門でなくても代行で1次対応をするため、外科系でタッグを組み 35%の増加に対応しているといった状況です。吉祥寺南病院の後に急性期の方を見ていただける医療機関ができるとありがたいです。

【委員】

現在、経営をしている医療法人とは市としても交渉を続けています。まだクリアしなければならぬ課題も多くありますので、市としては病院が1日でも早く再開できるよう調整を行って参りたいと思います。

【会長】

なにかご意見ご質問はございますでしょうか。
その他委員の皆様より共有すべき報告すべき事項はございますでしょうか。

【委員】

地域防災計画に予防対策として防災広報の充実が位置付けられています。この中で、平常時からFMを利用し市民の防災意識・活動の啓発を図る行うということが挙げられています。市の協力を得て、7月より新しい番組として「ラジオで聴く開く防災ハンドブック」という番組を試みています。日頃からラジオを通じ、いざというときに備える気持ちをもっていたきたく制作いというところで啓発しているところです。パンフレット1面の所に掲載しておりますが、毎日月曜日から金曜日までの17時15分から放送しております。

【会長】

なにかご意見ご質問はありますか。
それでは続きまして次第の第3「その他」について事務局よりご説明をよろしく願いいたします。

3 その他

【事務局】

—<事務局より今後のスケジュール及び議事要録確認方法について説明>—

【会長】

なにかご意見ご質問はありますか。
以上で予定の内容を全て終了しましたが、ほかに委員から何か報告事項等がございましたらご発言をいただきたいと思います。

4 閉会

【会長】

なければ、以上をもちまして令和6年度武蔵野市防災会議を閉会とさせていただきます。
今後も、本計画の着実な推進に向け、引き続き、ご出席の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。